

INTERIOR HINTS

「なんかしっくりこない」をほどく。

暮らしの整え方

色・素材・配置・灯り・アート・植物。



好きなものを活かして、心地よい暮らしを。

その違和感、 どれに近い？

気になるところから、読んでみてください。



狭い・使いにくい



まとまらない

03 家具の高さ

04 使うときの余白

05 質感と形

06 色のニュアンス

07 木の色



落ち着かない



物足りない・自分らしくない

08 灯りの位置

09 光と色

10 見えるもの

11 飾るものと周囲

12 好きなものと暮らし

最後に

13 今あるものを活かす

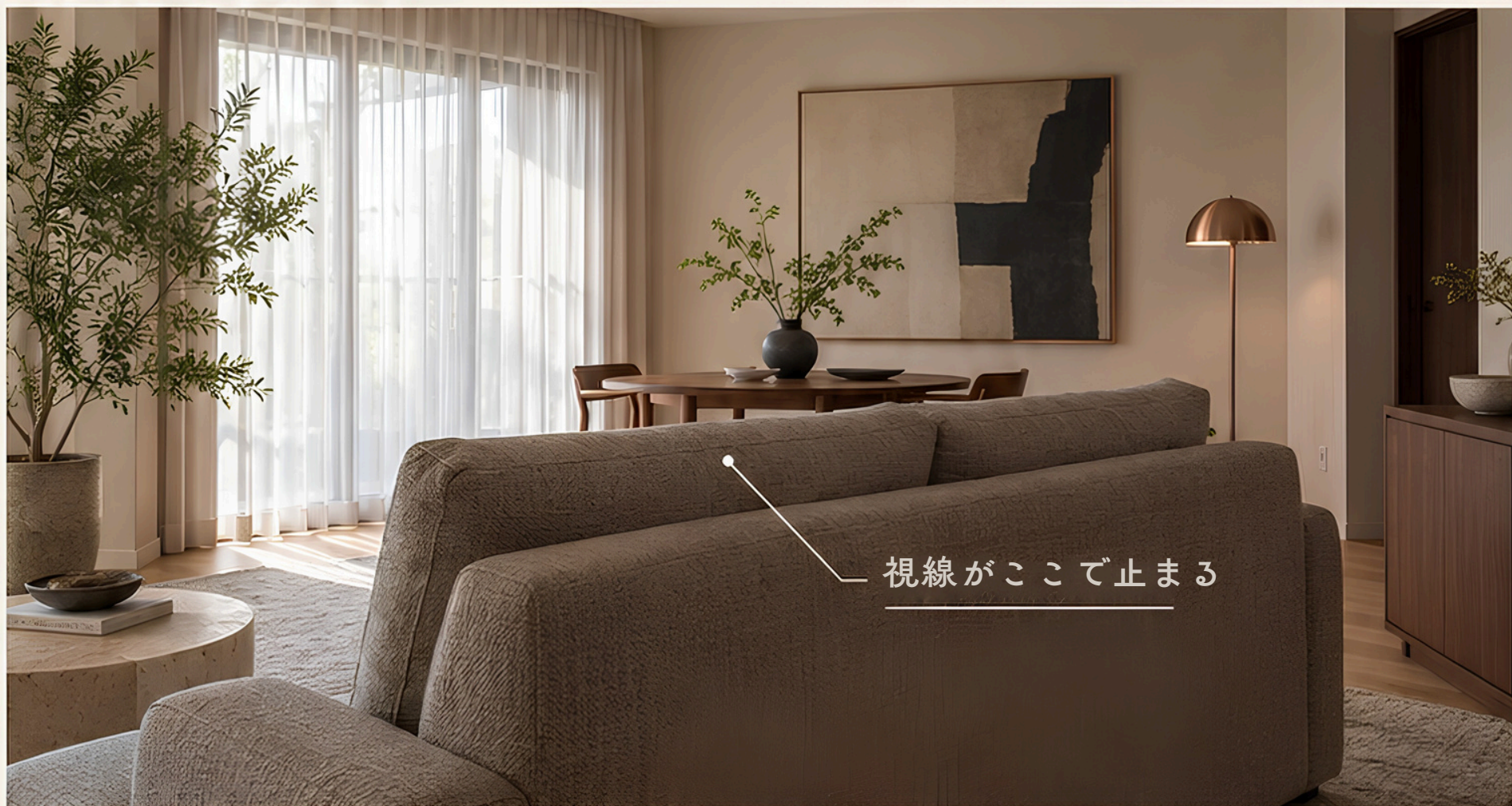
14 自分の部屋を見直す

15 ご相談について

物は多くないのに、狭く感じる。

家具の「高さ」で、見え方は変わる。

背もたれが高い場合



背もたれが低い場合



サイズが同じでも、 視線の通り方で印象は変わります。

広く見せたいなら、入口から見える家具の高さも確認。
包まれる座り心地を優先するなら、高い背もたれも選択肢に。

サイズは入ったのに、 使いにくい。

家具の寸法と、使う時の余白は別。



家具を置けるだけでなく、
心地よく使えるか。

椅子を引く、扉を開く、人が通る。
毎日の動作も含めて、配置を考えてみましょう。

色を揃えたのに、 まとまらない。

色だけでなく、質感も見てみることに。



同じ色でも、 ものが持つ表情は違います。

光沢・手触り・輪郭まで見ると、
「なんか違う」の理由が見えてくることも。

同じベージュなのに、 なんか合わない。

色の名前より、並べた時の実際の見え方を。



「ベージュ」も、
ひとつの色ではありません。

壁や床のそばで、候補を並べてみる。
写真だけで決めず、実物のサンプルも確かめて。

木の色が違うと、 買い替えないとダメ？

揃える楽しみも、混ぜる楽しさも。

木の色を揃えた空間



木の色を組み合わせた空間



木の色が違ってても、
心地よくまとまります。

色だけでなく、形や質感、周りの家具との関係も。
買い替える前に、全体を見てみましょう。

明るいのに、 くつろげない。

明るさだけでなく、光の位置にも目を向けて。

天井からの灯りだけ



低い位置の灯りを足す



過ごしたい時間に合わせて、 灯りを選ぶ。

作業には手元の明るさ。くつろぎには、落ち着ける灯り。
部屋全体を同じ明るさにする必要はありません。

お店で見た色と、 家で違って見える。

色は、光や周囲の色と一緒に見えている。

自然で見る



夜の灯りで見る



昼と夜、両方で確かめてみる。

周りの壁や床と一緒に見ると、選びやすくなります。
布や塗装のサンプルは、使う場所に置いて。

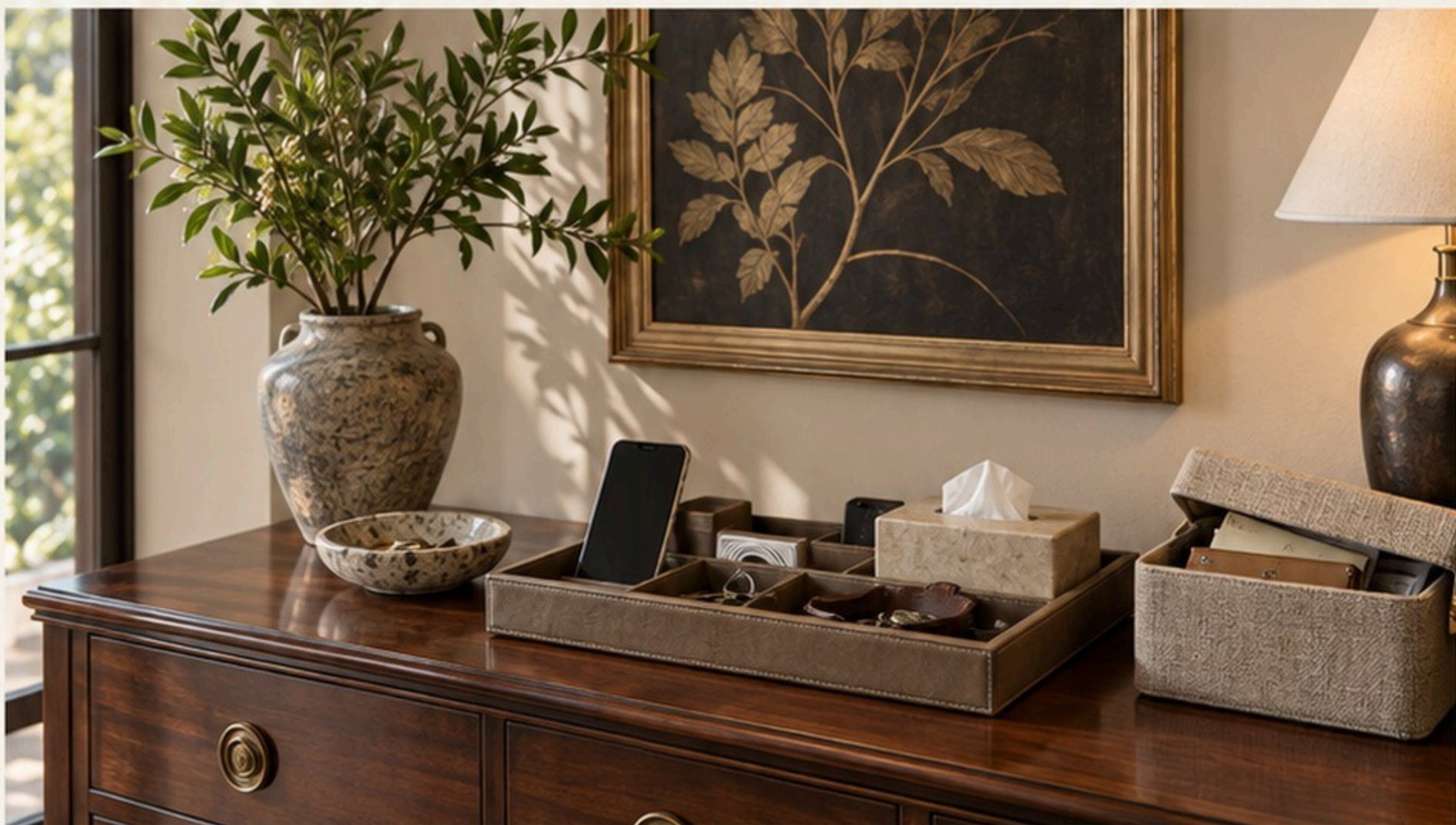
片づけても、 生活感が気になる。

よく目に入る場所に、何が見えてますか？

一つずつ、目に入る



ひとまとまりにする



物の数だけでなく、見え方を整える。

毎日使うものは、無理に隠さなくても大丈夫。
置き場所やまとめ方から、見直してみましょう。

植物、アートを 置いても、浮いてしまう

飾るものと、その周りを一緒に見る。

単体で見る



家具と合わせて見る



大きさ・高さ・距離で、 関係が変わります。

好きな作品や植物も、置く場所で見え方は変わる。
周りの家具まで入れて、少し離れて眺めてみて。

おしゃれでも、自分の 部屋という感じがしない

好きなものと、過ごしたい時間に立ち戻る。



何を眺めていたい？



どんな時間を過ごしたい？

正解のスタイルより、自分が心地よいか

憧れる部屋と、毎日暮らしたい部屋は違うことも。
好きなものを、少しずつ部屋に残していきましょう。

全部変えなくとも、 整えられる。

今あるものを、活かすという選択。

今あるものを確認する



位置と組み合わせを見直す



買い足す前に、変えられることがある。

配置を変える。飾る場所を変える。灯りを活かす。
大切なものを残したまま、整える方法もあります。

まず、自分の部屋で 確かめる3つ。

買い足す前に、ここから。



01

気になる場所

入口から、
いつもの席から。
どこを見ると、
違和感がありますか？



02

困る場面

座る、通る、片づける。
どんなときに、
不便を感じますか？



03

残したいもの

好きな家具、
思い出の作品。
これからも使いたいもの
は何ですか？

「何を買うか」の前に、「何を整えたいか」。

「うまく説明できない」
からでも、ご相談いただけます。



「なんか、まとまらない」
「今ある家具を活かしたい」
そんな一言から大丈夫です

ご希望や暮らし方をお聞きしながら、
必要なところから、一緒に考えていきます。

公式LINEから、ご相談いただけます。